

年会費納入および寄付の現状、課題および対応について（お願い）

副会長 企画調整 G 小野塚 新（昭和 54 年電化卒）

国大化学会維持および、学生支援を金銭面で支える寄付につき、多くの会員の方々にご協力いただき、ありがとうございます。現状と課題を、報告するとともに、さらに多くの会員の方々の会費納入と寄付をお願いいたします

1. 2019年度の会費・寄付納入の現状について

- (1) 会費収入（約407万円）（昨年度約334万円）
 - ・新入会員については、入学時に会費（3万円）の一括納入方式となり、約80%の納入率を維持
 - ・卒業生（総数約7,200名）については、約1,000名が会費（2千円/年）を納入
- (2) 寄付合計87万円（前年度86万円）
 - ・5千円以上の寄付者65名（昨年度33名から倍増）に返礼品として（日本酒「横浜国大」）

を送付、

- ・寄付者数は倍増だが、一人あたりの寄付金額が減少、ぜひ、ご寄付の増額をお願いします
- (3) 学生と企業（9社）の交流会を開催（企業参加費45万円）、学生および企業の双方から好評価いただく

2. 今後の課題と対応（会費納入者に会誌送付を限定）

- (1) 新入生の会費納入率向上に伴い、メリットを可視化（会費納入の有無による対象者の限定）
- (2) 国大化学会ニュースは会員全員に配布するが、会誌送付先については会費納入約1,000名に限定し、収支バランスを考慮。また、学生への配布を増加（1,500部）、国大化学会の学生支援活動の認知向上を図る。

具体的な活動一覧表

施策	限定(*)	内容 (*：会費納入の有無による対象者の限定)	詳細等
(1) 会員証配布	無	・会費一括前納方式の学生会員全員に「国大化学会会員証」を配布	・会費納入の有無によりカードの色を変え、支援内容に違いがあることを明記
(2) 学生支援1	有	・国内学会参加費補助 （年4回募集、1回1件/人、1万円/年を限度） ・国際学会参加費補助 （修士、博士課程で各1回/人、2万円/回を限度） ・ドクターコース進学支援（30万円/人） ・上記は他大学への進学者も対象	・3万円の会費納入者に限定（支援申請までに納入を促す） ・支援受領者の報告を義務化し一部を会誌に掲載
(3) 学生支援2	無	OB・OG企業訪問/OB・OGと語る会 ・成績優秀者表彰の副賞 ・学生と企業の交流会 ・ChemDrawソフトライセンス費用一部支援	・継続事業
(4) 会誌（冊子）送付先の限定	有	・3年以上会費未納の卒業生には、送付中止（ホームページからWeb閲覧は可能）	・国大化学会ニュースは連絡可能な会員全員に送付継続し絆を維持 ・会費納入者が、その3倍の未納者を支える不公平感を改善